

2016（平成 28）年度 事業計画書

2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

I	2016 年度事業計画 事業の体系図	・・・・・・・・	1
II	2016 年度事業計画一覧	・・・・・・・・	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

本部



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2016(平成28)年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所		
公1 絵本美術館の設置運営						
ア 絵本等に関する展覧会・講演会・ギャラリートーク等の開催						
■ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等						
ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	ちひろのムーブマン	ちひろは、ムーブマンそのものの子どもの姿をごく自然に描き出した画家である。日々成長していく息子を見つめ、スケッチを繰り返すなかで、ちひろはどんな格好をした子どもも描き出すことのできるデッサン力とともに、動きをとらえる線を身につけていった。本展では特に線に着目し、いきいきとした子どもならではの“ムーブマン(動勢)”を、ちひろがどのように表現したかを探る。	3月1日～5月22日	ちひろ美術館・東京	
		—絵のなかのわたし—ちひろの自画像展	画家としての出発点にあたる時期、ちひろは多くの自画像を描いている。懸命に自分の絵や生き方を模索していたこの時期の自画像群をはじめ、自伝的絵本『わたしのえほん』、ちひろ自身の姿を投影したともいえる少女像や母親像などを展示し、絵のなかに込められたちひろ自身の想いや生き方に迫る。	5月25日～8月7日	ちひろ美術館・東京	
		Kawaii・ちひろ展	近年日本独自の美学のひとつとしても注目されている「Kawaii」。まるい顔、つぶらな瞳、なにげない手のしぐさ、小さいもの、ユーモラスなもの、なつかしいもの……。ちひろが手がけた作品の多くには、さまざまな「かわいい」の要素が含まれている。「かわいい」を愛し、描き続けたちひろの感性を探る。	8月11日～11月6日	ちひろ美術館・東京	
		ちひろ・冬のしつらえ	四季折々の日々のくらしを慈しんでいたちひろ。秋から冬を描いた絵のなかには、装いや季節の行事、室内の調度など、冬支度が細やかに描かれている。本展では、秋から冬の子どもの作品をはじめ、雪深い黒姫山荘でのくらしぶりを思わせる作品や、絵本『ゆきのひのたんじょうび』の原画などを展示する。	11月9日～2017年1月15日	ちひろ美術館・東京	
		ピエゾグラフによる『窓ぎわのトットちゃん』展	なにもかもがユニークな小学校・トモエ学園での日々をつづった黒柳徹子の自伝的物語『窓ぎわのトットちゃん』。松川村営安曇野ちひろ公園の「トットちゃん広場」オープンを記念し、トットちゃんの物語とともに、ちひろのピエゾグラフ作品を展示する。	11月9日～2017年1月15日	ちひろ美術館・東京	
	【世界の絵本画家コレクション展】	赤羽末吉・中国とモンゴルの大地	22歳からの15年間を中国東北部(旧満州)で過ごした赤羽末吉。大陸の自然や伝統文化に魅せられた赤羽は、彼の地で画家としての活動を始め、そこでつかんだ壮大なスケールを後の絵本制作に生かした。赤羽の中国での足跡をたどるとともに、『スーホの白い馬』『ほしになつたりゅうのきば』など中国やモンゴルの大地を舞台にした絵本を紹介する。	11月9日～2017年1月15日	ちひろ美術館・東京	
	【企画展】	『はしれ、ト！』 ^{チョ・ウンヨン} 조은영의 絵本づくり展	韓国の絵本画家チョ・ウンヨンがブラティスラヴァ世界絵本原画展でグランプリを獲得したデビュー作『はしれ、ト！』は、競馬場という舞台設定と、幼い少女の目を通した人間観察が魅力の絵本である。絵本の原画とともに、制作プロセスの資料などを展示し、ユニークな絵本が誕生した背景を紹介する。	3月1日～5月22日	ちひろ美術館・東京	
		村上春樹とイラストレーター —佐々木マキ、大橋歩、和田誠、安西水丸—	現代日本を代表する小説家のひとり、村上春樹の書籍には、文章のなかに立ち現れる視覚的なイメージや文体そのものと響きあう表紙絵やイラストレーションが掲載されている。そこには一貫して村上自身の審美眼があり、テキストとイラストレーションの相乗効果が発揮されている。本展では、村上作品を支える視覚的な要素に焦点をあて、それぞれに絵本の著作もある、佐々木マキ、大橋歩、和田誠、安西水丸との仕事を紹介する。村上文学への新たな理解とともに、日本の絵本表現に新たな視座を与えるものとする。	5月25日～8月7日	ちひろ美術館・東京	
		あべ弘士の動物王国展	旭山動物園で飼育員を25年間勤めた異色の経歴を持つ絵本画家あべ弘士。動物と深く関わるなかで、その生命の営みを見続けてきた経験が、彼の絵本には生かされている。動物園で出会った動物たちや、アフリカや北極で目にした大自然のなかに生きる野生動物など、「生命のリアリティ」を映し出すあべ弘士の世界を紹介する。	8月11日～11月6日	ちひろ美術館・東京	
	【講演会】	『はしれ、ト！』 조은영의 絵本づくり展 関連企画 チョ・ウンヨン『はしれ、ト！』の絵本づくりを語る	画家のチョ・ウンヨン本人が絵本『はしれ、ト！』をつくった背景を語り、翻訳者・広松由希子は翻訳版ができるまでの舞台裏を紹介する。	3月13日	ちひろ美術館・東京	
		「あべ弘士の動物王国展」関連企画 あべ弘士講演会	夏の企画展に関連し、絵本画家あべ弘士が、「動物」と「旅」と「絵本作り」との関わりについて語る。	8月11日	ちひろ美術館・東京	
	【ギャラリートーク】	「赤羽末吉・中国とモンゴルの大地」展関連企画 講演会 「赤羽末吉のみた中国大陸」	戦中から戦後にかけての15年間を旧満州(中国東北部)で暮した赤羽末吉。赤羽茂乃(赤羽末吉の三男の妻)が、赤羽の足跡や中国の文化について語る。	11月26日	ちひろ美術館・東京	
		松本猛によるギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	3月6日、6月5日、9月4日、12月4日	ちひろ美術館・東京	
			展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京
	■安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等					
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	ちひろ —その心、花にたくして	いつも身近に花を飾り、慈しんでいたちひろは、作品のなかにも実に多様な花の姿を描き出している。本展では、花びらの質感までもが感じられる作品や、花に子どもの心を重ねた作品、花の精が登場する絵本など、ちひろが描いた花々を一堂に展示し、花に込めたちひろの想いを見つめる。	3月1日～5月10日	安曇野ちひろ美術館	
		ちひろのスケッチ紀行	旅を愛したちひろは、心の故郷・信州をはじめとする国内旅行はもちろん、当時はまだめづらしかった旧ソビエト(ロシア)やヨーロッパ各地への海外旅行にも出かけ、旅先でたくさんのスケッチを描いている。本展では、旅先で描いた風景や人物のスケッチ、旅の見聞が生かされた絵本などを展示し、旅の足跡をたどるとともに、旅と絵との関わりにも注目する。	5月14日～7月11日	安曇野ちひろ美術館	
		ちひろの絵で愛される『窓ぎわのトットちゃん』展 「みんな、いっしょだよ。」	トモエ学園での日々をつづった黒柳徹子の著書『窓ぎわのトットちゃん』は、世代を超えて読み継がれ、世界中で愛されている。黒柳徹子の文章とちひろの絵が織りなす『窓ぎわのトットちゃん』の世界を紹介する。	7月15日～9月27日	安曇野ちひろ美術館	

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	愛書総覧 ちひろの本棚	愛読書には、その人の生き方や思想が映し出される。ちひろのアトリエにも、文芸書や美術書、図鑑など、ちひろの興味や制作の足跡を物語る書籍が残っている。本展では愛読書をもとに、ちひろの人生と創作の源泉を探る。	10月1日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
		「わたしのトットちゃん」ピエゾグラフィ展	夏の会期に、「トットちゃん」をイメージさせるちひろの作品を、国内外から広く募集する。寄せられたメッセージとともにピエゾグラフィ作品を展示し、新たな『窓ぎわのトットちゃん』の世界を紹介する。	10月1日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
		トットちゃんの部屋(子どものための展示室)	松川村営「トットちゃん広場」オープンに合わせ、『窓ぎわのトットちゃん』に掲載されたちひろの作品(ピエゾグラフィ)にいつでも出会える展示スペースを設ける。また電車の教室の一部を再現し、トットちゃんの世界を体感し、子どもたちの目線で展示を楽しむことのできる工夫を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館
		ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像等により、ちひろの人間像を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	【世界の絵本画家コレクション展】	ちひろ美術館コレクション 花の博覧会	可憐で美しい花は、洋の東西を問わず多くの画家たちを魅了し、ときに移ろう季節を表すものとして、ときに輝く生命の象徴として、絵のなかに描かれてきた。コレクション作品から、国や地域、画家の個性によって多彩な表現がみられる、彩り豊かな花の数々を紹介する。	3月1日～5月10日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション ふしぎな動物たち	ひとくちに動物といっても、画家によって描き方は千差万別。本展では、コレクションのなかから、鼻を楽器にしてブルースを奏でるゾウや、民族衣装を着たキツネなど、ちょっと不思議な動物たちを紹介する。	5月14日～7月11日	安曇野ちひろ美術館
		BIB50周年 ちひろ美術館コレクション 絵本の歴史をつくった画家たち	世界最大規模を誇る国際コンクール「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(略称BIB)は、その芸術性の質の高さでも知られている。BIB創設50周年を記念して、コレクションのなかから、同展をはじめ、国際的な絵本賞の受賞画家の作品を紹介する。	7月15日～9月27日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション 無限の夢幻	絵本には、夢や幻想の世界を描いたものが多く見られる。本展では緻密な描写が作り出す幻想世界や、架空の動物が登場する摩訶不思議な世界など、「夢幻」をテーマに、画家の豊かなイマジネーションから生まれた作品を紹介する。	10月1日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	【企画展】	あべ弘士の動物王国展	旭山動物園で飼育員として勤務した後、画家として活躍しているあべ弘士。現在も、野生動物を追って世界各地を訪れ、ユーモアあふれる描写のなかに、自然や動物に対する深い思いが感じられる作品を創り続けている。本展では、絵本原画や旅行記、立体などを展示し、「生命のリアリティ」を映し出す、画家の創作の根源をさぐる。	5月14日～7月11日	安曇野ちひろ美術館
		没後10年「長新太の脳内地図」展	独自のユーモアとナンセンスで漫画や絵本に新境地を切り拓いた長新太。本展では、「イマジネーション」と「センスとナンセンス」の2部構成で、10のテーマから、絵本原画、漫画、イラストレーションなどを展示し、迷宮のように広がる長新太の脳内を案内する。	10月1日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	【絵本の歴史展】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分け、紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館
	【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
■他館と提携する展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【展覧会】	ピエゾグラフィ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフィによる複製画展を、開催希望自治体、団体、施設と協力をして行う。合わせてギャラリートークや講演会、水彩技法ワークショップなども実施する。	通年	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市)
			7月30日～9月30日	剣淵町絵本の館(北海道)	
			9月～10月	福知山市佐藤太清記念美術館(京都府)	
	10月～11月	ギャラリーエークウッド(福島県耶麻郡)			
【ギャラリートーク等】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説するギャラリートークと、いわさきちひろの水彩技法体験ワークショップを開催する。	7月30日	剣淵町絵本の館(北海道)	

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持ち、魅力的な絵本の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品管理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	支持体、画材とも脆弱な水彩画である、いわさきちひろ作品のデジタル・アーカイブスを進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	両館で開催する展示ならびに、2017年のちひろ美術館・東京の開館40周年・安曇野ちひろ美術館開館20周年、2018年のちひろ生誕100年記念展覧会等に向けて、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	両館で開催する展示ならびに、2017年のちひろ美術館・東京の開館40周年・安曇野ちひろ美術館開館20周年、2018年のちひろ生誕100年記念展覧会等に向けて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進め、魅力的な絵本の要素を研究する。		

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
作品・資料の調査・研究	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、「美術館だより」や図録、HPを通じて公開する。また、それら「美術館だより」、図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈する。	通年	両館
	研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPにアップする。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開していく。	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	『はしれ、ト！』チヨ・ウンヨンの絵本づくり展」関連イベント チヨ・ウンヨンのワークショップ	絵本『はしれ、ト！』に使われている技法からいくつかを選び、画家本人の指導のもと、技法を体験、小作品をつくる。	3月13日	ちひろ美術館・東京
	ガーデントーク ちひろの庭の花めぐり	「ちひろの庭」を中心に、作品との関連やいわさきちひろが愛した草花等のエピソードを紹介する。	3月27日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの水彩技法ワークショップ	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	4月3日、7月29・30日、8月28日、2017年1月2・3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する。	4月16日、7月2日、9月17日、11月19日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ美術館・東京 たてもの探検ツアー	ちひろ美術館・東京の館の内外をめぐりながら、建物にまつわるエピソードや、そこに込められた思いを紹介する。	5月18日、12月18日	ちひろ美術館・東京
	ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ27歳の旅立ち」上映会	ちひろの映画を通して、ちひろの人生と絵に込められた思いを紹介する。	6月25日、9月10日、12月15日	ちひろ美術館・東京
	「ちひろのムーブマン」関連講座「クロッキーを描いてみよう！」	ちひろが描いた動きのある線を見た後に、実際に素早く動く対象を描くクロッキーに挑戦する。	4月23日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 ファーストミュージアムデー	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象に、子どもたちと一緒に美術館を楽しむ企画を開催する。	11月13日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座1～4	「フォーラム子どもたちの未来のために」と連携し、各方面の専門家や文化人らを招いて講演会、対談、朗読等を行い、子どもの幸せと平和な未来を考える講座を開催する。	4月16日含め年4回	ちひろ美術館・東京
	「ちひろーその心、花にたくして」関連イベント トーク&ワークショップ 花を楽しむ	学芸員による展覧会のギャラリートークと、花を楽しむドライフラワーアレンジメントの講座を行なう。	4月16日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの水彩技法ワークショップ	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使ったワークショップを行なう。	4月24日、7月下旬～8月中旬	安曇野ちひろ美術館
	「あべ弘士の動物王国」展関連イベント あべ弘士によるワークショップ	あべ弘士による子どものためのワークショップを、松川村図書館との共催で行なう。	5月14日	安曇野ちひろ美術館
	「わたしのトットちゃん」ピエゾグラフ展関連イベント 世界のことばで楽しむトットちゃん	世界中で読まれている『窓ぎわのトットちゃん』を紹介し、さまざまな言語での「トットちゃん朗読会」を行なう。	10月10日	安曇野ちひろ美術館
	「長新太の脳内地図」展関連イベント 長新太だらけのおはなしの会	長新太の絵本の魅力を「読み聞かせ」で味わう、おはなしの会を行なう。	10月1日、11月5日	安曇野ちひろ美術館
「長新太の脳内地図」展関連イベント パパ'S絵本プロジェクトの絵本ライブ	長新太を中心とした絵本の読み聞かせを音楽にあわせて楽しむ、絵本ライブを行なう。	11月13日	安曇野ちひろ美術館	
学校との提携活動	地元中学校との提携活動ー中学生ボランティア	松川中学校と連携し、夏休み期間中、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ、展示解説、絵本の読み聞かせ等の活動を行なう。	7月下旬～8月中旬	安曇野ちひろ美術館
	出前授業	いわさきちひろやちひろの技法について、学校等に出向いて出前授業を企画、実施する。	随時	両館
	来館団体への各種教育プログラム	授業や修学旅行などで来館した学校を対象に、ちひろの水彩技法ワークショップや美術館探検、読み聞かせなどを組み合わせた授業を行なう。	随時	両館
	スクールミュージアム	長野県下の希望校を対象に、展覧会の作り方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展覧会が開催できるよう生徒キュレーターを育成を行う。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入れ	練馬区近辺、松川村近辺の中学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館
	学芸員実習、インターンシップ生の受入	学芸員実習希望者の受入と、武蔵野美術大学からのインターンシップ生の受入を行う。	随時	両館

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいか、どのように読めばよいか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本が楽しめるよう支援していく。	通年	両館
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
平和のパネル展	平和のパネルを希望する施設・団体・学校等で掲示	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施(東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内子どもホスピス「もみじの家」)	来館が難しい病院患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。	随時	両館

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ等	シンガポールにおける「日本の絵本のあゆみ展」および「フォーカス国日本」サポート	シンガポールで開催されるAFCC (Asian Festival of Children's Contents)に併せ、シンガポール国立図書館内にて日本の絵本のあゆみを紹介する展示等を開催する。また、AFCCの「フォーカス国日本」に向けて、国内準備委員として国際こども図書館、日本児童出版協会、学校図書館協議会等と連携し、参加講師と共同してセッションを準備、実施する。	2016年5月～7月	シンガポール
	韓国・ソウル市立図書館における「ちひろとトットちゃん展」の開催	韓国でもロングセラーである『窓ぎわのトットちゃん』の世界をちひろのピエゾグラフとともに紹介する。	2016年秋～冬	ソウル
	中国、台湾等での展覧会準備	ちひろ美術館・東京の開館40周年・安曇野ちひろ美術館開館20周年、および2018年のちひろ生誕100年に向けて、いわさきちひろの展示をアジアの主要都市で行う準備をすすめる。	随時	両館
	インドにおける「ちひろと日本の絵本展」(巡回)	インドの国際交流基金と連携し、「ちひろと日本の絵本展」をインド国内で巡回する。	2016年4月～	インド
海外からの研修受入と交流	海外の絵本・絵本美術館等関係者の視察・研修受け入れ	韓国・中国等の絵本画家、絵本美術館関係者、研究者に当館の展示や保存技術、理念等を研修し、交流する。海外からの関係者の視察に随時対応する	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)、並びに、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会、全国絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、適時、提携活動を行っていく。	随時	両館
	絵本美術館ネットワーク設立のための協議	絵本美術館ネットワーク(米・英・豪・日)の設立のための準備を行う。	随時	両館
	海外の図書館等へのちひろの絵本の普及	海外の国際交流基金の図書館等に、ちひろの絵本を寄贈し、普及に努める。	随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ指導等	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等について指導を行っていく。	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスをを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスをを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	--	----	----